

ほしのみやじんじゃこふん
名前：星宮神社古墳

しもつけしほそや いしほしちない
所在地：下野市細谷（石橋地内）

えんぼん
形：円墳と考えられます

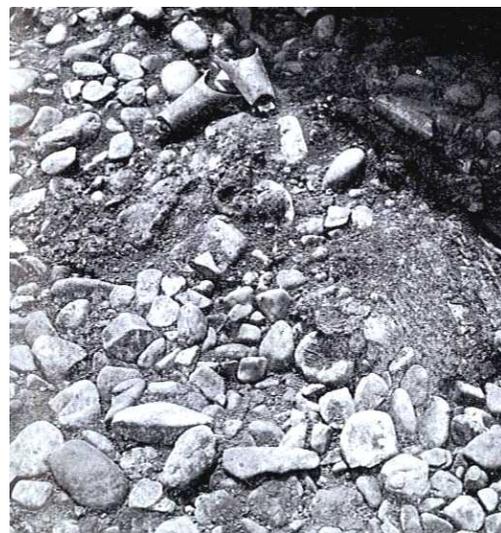
こふんこうき
時代：古墳後期（6世紀後半）

ぜんちようやく
大きさ：全長約50m



けいしやうはにわへん えんとうはにわへん きよくるい じかん ぼくるい
出土品：形象埴輪片・円筒埴輪片のほかに玉類・耳環・馬具類

こふんないぶ よこあなしきせきしつ せきしつない にんげん は しめつど な
その他：古墳内部は横穴式石室で、石室内からは人間の歯が出土していました。亡くなっ
た人のものと思われます。馬具類の中でも「馬鐸」(馬のかざり・鈴で音が出る)が特徴的
です。



む ひだり ばたく い こだい ひと うま
向かって左が「馬鐸」と言って古代の人が馬

むね かざ
の胸に飾ったアクセサリーだよ。

みぎ ばたく はか じょうたい
右が、馬鐸がお墓から出てきた状態だよ。